

# 校長だより

# 12月14日版

## 安全安心の学校ニュース

### ●コロナに関して

日本国内での感染者数がかなり少なくなり、少しずつ通常の生活に近づきつつあります。しかし、ヨーロッパなどでは依然猛威を振っているうえに、新たなオミクロン株の出現など、心配はあります。油断せずに少しずつ活動の範囲を広げていくというのが、ウィズコロナの考えなのかなと思います。学校としても確認のためにもう一度ここでお話させていただきます。

①登校前の健康チェックを毎日お願いします。

②健康チェックで、37.0℃以上の熱がある場合や風邪症状がある場合は登校を見合わせて下さい。

③同居ご家族で、PCR検査を受けられる方がいらっしゃる場合は、登校は見合わせて下さい。(検査を受ける段階で学校にご連絡もお願いします)

3年生はこれから重要な受験の時期になります。クラスター等の発生を防ぐためにもご協力お願いします。

## 西中フライド(1年生 障がい者理解の授業)

先日、1年生のみなさんの前で、障がい者理解のお話をさせていただきました。寒い中、固い床に座っての、2時間の長い話に関わらず、みんな真剣に聞いてくれて、その上素晴らしい感想文をみんな書いてくれました。話の内容は、

- 1、 障がい者ってどういう人？
- 2、 ある障がいのセルフチェック（20の質問の中であてはまる項目を心の中で数えましょう）⇒全員が一つはあてはまる。⇒誰でも少しは障がいの要素がある⇒障がい者をバカにするということは自分をバカにすることにもなる。
- 3、 一コマの漫画を使って、様々な障がいの紹介。⇒こんな人いるいる！私もあてはまる！これも障がいの一つなのか！！
- 4、 どうしてこういう勉強をしてもらおうと思ったか！
  - ①自分にも障がいがあるとしたとき、生きやすくするために周りの人に説明したり、助けを求めたり、自分でも工夫して克服することが大切。そのことをわかってほしいから、この話をしています。
  - ②周りの人の障がいに対する理解をすることで、人にやさしく接し、支えあえる関係をつくる。みんなにそうなってほしいからこの話をしています。
  - ③親になったときに、子どもが障がいを持っていた時に、子どもの気持ちをわかってあげられるようになってほしいから。この話をしています。
- 5、 障がいを持っていると言われる有名人
  - ①スポーツ選手
  - ②お笑い芸人
  - ③芸能人・ミュージシャン
  - ④コンピュータの開発者
  - ⑤自動運転の会社の社長
  - ⑥ハリウッドスター
  - ⑦偉人（坂本龍馬・織田信長・レオナルドダヴィンチ・エジソン・アインシュタイン・モーツァルト）障がいがある = 才能がある
- 6、 エコーロケーション・・・目が見えない人が、自転車に乗れたり、バスケットボールのリングにシュートを決めたりできる。（口から音を出して、反響する音を聞いて、距離感をつかむ）⇒イルカやコウモリの能力⇒人間も訓練で身につけている人がいる⇒目が見えない部分をおぎなおうと耳がものすごく発達している
- 7、 ヘレンケラーのお話  
目が見えない・耳が聞こえない・話せない

サリバン先生との出会い  
水を理解した時のエピソード

8、ある障がいを持った生徒とそのご家族との出会い

生徒・・・人差し指の反転手術

左手の肘から上の長さをのばす手術（人工的な骨折）

小さい時からいくつもの障がいを乗り越えて大きくなってきた

保護者・・・4歳での公園デビューの話

どうして、支援学校ではなく地元の学校を選んだのか。

（大きくなったときに、地元にも一人でも二人でも友だちがいてほしかったから）

低学年の児童からどうしてこんなに傷だらけなのかと聞かれて

（私のお腹の中にいたときにケガをしたの。その時の傷がまだ治っていないのよ）

私のつたない話でしたが、みんな真剣に聞いてくれました。その上に、感想文をしっかりと書いてくれて、校長先生は感動しました。その感想文を一部ここに紹介します。

**私はじっとするのが苦手で、今、校長先生の話聞いて、「あぁ～私みたいなそういう人もおるんやな～」と強く思い、これからは、この人どうしたんやろ、しんどそうやなとか、大変そうやなって思ったときは、真っ先に助けてあげようと思ってきました。私は障がいのことをかわいそうな人としてしか認識してなかったので、**かわいそうな人ではなく、生まれつきこういう形で生まれてきたんだから、他人がどういおうとどうにもならない。その人が生きると決めたのなら他人はそのことを受け止め応援するしかない。だからこそ、気持ちを込めて精いっぱい応援してあげよう、ささえてあげよう、そういう気持ちになりました。****

**私は自分自身の障がいにとらわれず絶対に打ち勝つ精神力を見習いたい**と思いました。パラリンピックなどで**自分自身とたたかって記録を伸ばしていくことや努力をおこたらない**ところを見たり聞いたりして、かっこいいなあと思うことが多いです。私は昔そんなかっこいい方たちに「かわいそう」や「人生大変そうだな」などの言葉を直接ではなくとも思ってしまったことがあります。そんなとき、あるテレビでパラリンピックの選手の方が出ていました。その人が「**障がいも自分の一部でたいないことがあるのも個性。何も苦勞しなかったと言えようそになるけど、いやな事だけじゃない**」と言っていました。その時、私は大きな間違いをしていることに気づきました。今回の校長先生のお話の中で、「一度でもバカにしたことがある人」というとき、私は困りました。「かわいそうや」「人生大変そう」は、実際努力している人が聞いたらどう思うのかと。しかし、私は手をあげる勇気がありませんでした。その時、**Aさんたちが迷いながらも手を挙げていた時、すごいなと思いました。**貴重な2時間お忙しい中本当にありがとうございました。この貴重な時間での話をしっかり

と心に刻みこれからの人生を歩んでいきます。

障がい話を聞いて、自分も障がいを持っている人についてばかにしたことがあって、**相手の気持ちも、相手の親の気持ちも考えないで発言してしまったから、そこはこれから絶対ないようにします。**みんながみんな障がいを持っているわけではないけど、自分もそんな感じの障がいを持っているんだと知りました。これからは相手の気持ちを考えて発言を絶対します。

**障がいて、身体だけの事だけじゃなくて、心のことにも障がいがあるって知った。**自分も、空想の世界にトリップして、今やっていることに集中できないとか、友だちといるよりも1人である方が好き、とかもあてはまった。自分にそれが障がいということも知れたし、障がいのある人は決まっていなかったなと思いました。**これからは誰かが困っていたら助けをあげたいなと思いました。**

私は、障がい者も自分たちと同じ生きている人間だからと、障がい者をバカにする、悪く言うようなことは絶対にしませんでした。今日話を聞いて、誰でも一つは障がいを持っていると聞いて、**生きていくことに有利も不利もない**と分かって、やっぱり人間は平等であるわかりました。正直、目立つような障がいがない自分より、障がいがあると公表している人の方が、圧倒的に私より才能があり、私よりも素晴らしいことができると思いました。これからは、**今以上に障がいのことを考えて、人の気持ちを考えて生きたい**と思いました。

**自分にも障がいがあるんだとわかった。だから障がいがある人に絶対悪口を言わない。**自分がこだわりが強いのも障がいの一つに入るのだとわかった。いろんなことが学べて、とても勉強になった。

とても良い話だった。いろんなことを学べたからよかったと思った。校長先生の話は、**面白いやつもあつたし、しっかり聞かないといけないうつもあつて、楽しかった。**

**パラリンピックとオリンピックを分ける時点で、もう差別しているんじゃないかと思った。**障がいについて、自分もあてはまる部分があった。差別をなくしたいと思っても、行動する勇気を身につけることができない。この世界で障がいを持っていない人の方が少ないんじゃないかと思った。**障がいを最大に活かして、楽しく生きていきたい。障がいを持っている人ともっていない人で、互いに理解して、平和にしたい。**

話を聞いて、いろいろな障がいがあることを知りました。障がいがある人のことをバかに

するのではなく、その障がいを理解することが大切だと思いました。**障がいの人とこれから関わることがあったら、理解してすごそうと思った**し、障がい者をばかにする人がいたら、いけないことっていうことを教えてあげようと思いました。

今日 2 時間ぐらい**校長先生の障がい者の話を聞いて、私は「かわいそう」とかはなぜか思わなくて、「すごい」と思った**。なぜなら、目が見えない人でも、バスケのシュートができたり、自転車に乗ったりと難しいことができるのはすごいと思ったから。ほかにも何度も手術で人工的に骨折させて、骨をのばしたりと、自分では考えられないことをして感心した。自分は障がい者の才能を伸ばしたりすることは良いことだと思う。独特な絵など初めて見るものばかりでおもしろかった。今回を通して、**改めて相手をよく見て、決めつけたりしないようにしようと思った**。

めっちゃ大事な話だった。**障がいがあるからダメなんじゃない。どう思うか。どう感じるか、それが大事だと思った**。有名な人でも障がいはある。『絶対にバカにしてはいけない！！』

今まで、“障がい者を差別すること”は良くないことで、バカにしてはいけないことというのはわかっていたけど、今日先生の話聞いて、改めて感じました。“障がい”でも見てわかるものもあるけど、生活に支障のあるものやみんなが色々な障がいを持っていることが分かった。**障がいのある人本人の気持ちや親の気持ちを自分は体験していないが、気持ちはくみ取れた**から、自分が悪口を言わないことはもちろんだが、友だちが言っていたら止められるような人になりたいと思いました。あと“障がい”は限られた人だけじゃなくて、ほとんどの人が持っていて、みんながみんなを尊重して、楽しく生活しやすい学校にしたいと思いました。学校だけでなく社会を変えることが最終目標です。でも今回、“障がい”は誰にでもあるというのは本当にびっくりしました。それに**“障がい者”は変わっているという考え方が、先生の話聞いて変わったし、一人の人間として成長できたと思います**。長い時間お話ありがとうございました。

僕は小学校のころ障がい者の人をいじめたことがあります。今日聞いて、僕も障がい者のこといじめてるから、**これからは障がい者のことを絶対にいじめないと決めました**。

障がいっていう意味は知っていたけれど、新しい障がいの意味を知って、誰にでも障がいはあることを知れました。障がいがあるということは悪いことではなく、その人の個性なんじゃないかな？って思いました。**障がいがあって、苦勞したり、大変なことも、生きていくとたくさんあると思うけど、それ以上にもっともっと楽しいことがあった。まわりのたくさんの人に支えてもらえることでもあると思えました。人それぞれ、できないこと、できること、あると思うけど、それをおぎなって生きていくことの大切さを今回の授業で学びました**。今後困っている

人がいたり、助けを求めている人がいたら、そんな人をサポートできる人になっていきたいと思いました。

私は、自分のことなのに、物事をはっきり言わない人に、イライラしてしまうくせがあります。だけど、今日校長先生が話してくれたように、**そのようなことがやりたいとでもできない人がいるということ**を改めて理解しました。だから**私はその人たちが頑張っている分、自分の短所を減らすために練習しようかなと思います**。今日は貴重な時間を使いお話いただきありがとうございます。

自分は障がいを持った人をバカにしたような発言はしていないと思っているけど、自分では気づいていないだけで、言っていたかもしれないなと思いました。質問に何個あてはまるかの奴で、自分も何個かあてはまっていて少し意外でした。みんな 1 個以上はあてはまっていたので障がいは身近にあるのだと思いました。**人をバカにしたいするのは自分に自信がないからってのは少しわかりました**。手がなくても、目が見えなくても、耳が聞こえなくても、みんなが同じ人間で、できることもあるし、できないこともあるから、バカにしたりいじめたりするのはやめたらいいと思います。**障がいを持った子の親はすごいなと思いました**。今日の授業で知れたことがたくさんありました。ありがとうございました。

私は今まで「障がい者」について、深く考えたことはあまりありませんでした。**最初に校長先生が言ってくれた「つい、かっとなって暴力をふるってしまう」これは、私が小学 3 年生からあり、今もあります。自分ではわかっているけれども、つい手が出てしまう。私もなぜかはわかりません**。今日の話聞いて思ったことは、**みんなそれぞれ障がいがあるのではないのか**ということです。話すのが苦手な人。コミュニケーションをとるのが苦手な人、いろいろな人がいると思います。今日私が校長先生のお話を聞いて、自分の障がいとは何か考えました。次のことです。**1、わけもわからず涙が出てしまう・2、すぐに暴力をふるう・3、こうえきれなくなる・4、マイナスの事だけを考えてしまう・5、人の話を集中して聞けない・6、嫌いなことに真面目になれない**

初め障がいをもっている人って大変だなって他人事だと思ってしまった自分がいました。でもこうもくをチェックするので、もちろん自分もみんなもあてはまっていて、**あっ他人事じゃなくて、すごい身近にあることなんだ**と思いました。そして、私は**障がいを持っている人はかわいそうという考えを改めることができました**。今活躍している、さかなクンやトム・クルーズなどとても有名な人も障がいがあることを知りました。それがものすごく衝撃的でした。たとえ障がいを持っていてもそれは絶対にバカにすることじゃないし、かわいそうだと思うことでもないと感じました。私は、校長先生の言っていた**「障がいを持っている人は天才なのかもしれない」という言葉がすごく心にささる言葉**でした。私はそうか

もしれないって思ったんです。だって、昔の偉人も、芸人も、芸能人も、障がいを持っていても、すごい功績を残しているからです。やっぱり**可能性のかたまり**なんだと思いました。もしこの先障がいを持っている人をバカにする人がいたら、その人は天才なんだよって言ってあげたいです。

学校にも 1 人は障がいのある人はいるし、先生の質問にあてはまった人が手を挙げるやつで、全員が手を挙げていたから、「障がいがある」というのは、ぱっと見でも、行動でも確実にわかるものではないと知れました。「えっ？これも障がいになるん?!」というのがあってびっくりしました。**その人の障がいって言い方じゃなくて、「特徴」とかって言った方がその人は生きやすいと思うから、その人が自信をもって生きられるような空間がどこに行ってもあるようにしたい。**だから、まず、自分からそういう障がいがある人、そして、目に見えて何か言われている人とかをちゃんと助けられるように行動していきたいです。先生の話聞いて、**自分を見つめ直せた**気がしてよかったです。

感想を読んでいて感じたことですが、自分事として、自分に返して考えられている人が多かったように思います。身近な問題として障がいをとらえることができていました。また、障がいのある人へのイメージが変わった人も多くいました。障がい➡特徴➡才能（可能性）とまで広がっていきました。障がいのある人やその家族の気持ちに触れることができた人もいました。このさき、自分に障がいがあると感じた人は、どうやってその障がいを克服するかを考えるときに、周りの人に自分の状況をきちんと告白し、具体的な助けを求めていくことが大切です。同時に、メモを取ったりするなど自分なりの工夫をしていきましょう。また、自分の周りの人で障がいを持つ人がいた場合。どのようなお手伝いが一番喜ばれるのかを考えて、思いやりを持って接することが大切です。そして、もうひとつ。将来あなたが親の立場になったときに、もしあなたの子どもがそういった障がいで悩んだとき、一番の理解者となってあげて欲しいです。今回のこのお話はそんな願いを持って話させてもらいました。しっかり聞いてくれて、素敵な感想文も書いてくれて、ほんとうにありがとうございました。